

## いじめ問題対策連絡協議会の運営について(ニーズ調査) 結果まとめ

### 1、開催時期について

現在、原則として定例会を年2回開催することとなっており、8～9月に第1回、翌年1～3月に第2回を実施していますが、開催時期についてどのようにお考えですか？

- 今のままでよい : 10名(1名)
- どちらとも言えない : 8名
- 変更が必要だ : 1名 (いつ頃:第1回目の会議を5月頃に)

### 2、委員構成について

現在、各関係機関や団体等から、20名の方に委員としてご参加いただいています。委員構成についてどのようにお考えですか？(例:新しいメンバーの追加、自身の所属団体の参加の必要性など)

- ・現状でよい、バランスがとれてよいと思う。
- ・本協議会の内容を活かすためには、学校関係者は小・中・高から各1校でよい。ただし、PTA関係者については、課題を感じる。
- ・人事や予算事務の関係者、学校の人材不足の問題に直結する担当の方の参加。
- ・市教育委員会の職員課や研修担当などの参加。
- ・子どもや若者を支援している団体等の参加。
- ・SC や SSW、いくしあ等の、現場に近い職員の参加。
- ・分科会があってもいいと思う。
- ・人権一般を対象に調査・救済・啓発活動を行っており、子どもの人権については対応しているものの、いじめに特化した活動は行っておらず、参加の必要性について疑問を感じた。
- ・現場の先生方にもっと入ってもらった方がよい。

### 3、今日の協議会について

「いじめ問題の未然防止・早期発見のためにできそうな取組」をテーマに、昨年度ワークショップを通じて意見交換、協議した内容を踏まえ、取組への提言の整理を行いました。満足度をお聞かせください。

- 満足 : 3名(1名)
- やや満足 : 8名  
(意見) ・いろいろな立場から専門的な意見を聞けたが、もう少し議論になればよかった。
- どちらとも言えない : 6名
- やや不満 : 2名  
(意見) ・各組織代表1名の発言でよい。

□ 不満 : 0名

#### 4、今後の運営について

今後、協議会で取り上げたいいじめ問題に関するテーマや、やってみたい連携を図るための手法(ワークショップや視察、講演会など)はありますか？

- ・いじめの早期発見に向けて、先生方の感度を上げる。
- ・関係諸機関との具体的な連携。
- ・各部署で困った具体的な事例を挙げて、話し合う。
- ・取組結果を数値で見たい。
- ・尼崎特有の課題に関する事例検討。
- ・いじめの現状について学べる場。
- ・各機関で扱っている事例の紹介。
- ・連携のために、参加者の連絡先が知りたい。
- ・関係機関も広範囲で、視点・発言も多様であるため、協議の方向性がまとまらず、深まっていけないように感じる。もう少し、事前にテーマ設定を明確にして、限られた日数・時間で意義のある協議を推進して欲しい。